

高浜3、4号

町会が再稼働同意

町長、知事選後に判断

高浜町会は20日、全員協議会を開き、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働に同意することを決め、野瀬豊町長に伝えた。再稼働に向けた地元同意手続きの最初の段階をクリアした。野瀬町長は、町民の意見や広域避難計画など国の政策をみながら、4月の知事選後に判断するとしている。

(2面に関連記事)

全協の冒頭、的場輝夫議長が、今年2月に原子力規制委員会が審査の合格を出して以降、再稼働を求める陳情を採択したことなど、町会としての取り組みを説明した。

その上で「再稼働については、町民の間で大きな議論になっていない。町会として同意することを町長に伝えた」と議員に提案した。国に対しては、避難道路の整備など「(意見書に盛り込んだ)8項目の要望の実現に向け、最大限努力するよう強く求めていく」とした。

議長を除く全13議員の意見聴取は非公開。的場議長によると反対意見1件が出たものの、12議員は議長提案に賛同する意思を示したため、町会として同意を正式に決めた。

その後、的場議長は野瀬町長に「再稼働について意見の一致をみた。町会は(再稼働に)同意することに決した」と述べ、同意内容を記した文書を手渡した。

野瀬町長は「(東京電力福島第1原発事故後)4年間、重い課題に向き合ってきた町会の意見は、町としての判断の大きな要素とする」と答えた。

本会議では、的場議長が町民に向けて町会として同意したことを報告。傍聴席の数人から「恥を知れ」などと大声が上ががり、退場を命じられる一幕もあった。

野瀬町長は記者団に対し町としての同意判断は「知事選後になる」とこれまでの考えを繰り返した。野瀬町長の判

断後、県会の議論や県原子力安全専門委員会での安全性確認を踏まえ、西川知事が最終判断するとみられる。

関電は高浜町会の同意について「ご理解を示していただいたことを大変ありがたく思っている。引き続き地元である福井県と立地町の理解をたまりながら、安全性が確認されたプラントの一日も早い再稼働に全力で取り組む」としている。

(牧野将寛、青木伸方)

改選控えた町会判断

高浜3、4号の再稼働

町長「知見、経験あり妥当」

4月の統一地方選で改選を控える高浜町会が20日、関西電力高浜3、4号機の再稼働同意を判断した。野瀬豊町長に伝えた後、的場輝夫議長は記者団に「東京電力福島第1原発事故から4年、立地町としての誇りを失わずにいろいろ取り組みを行ってきた。今の議員で決断を下すことができ感謝したい」とホッとした表情で話した。(一面に本記)

閃電は再稼働時期について、電気料金値上げ申請時に11月としており、「新議員での同意判断を」との声があったのは事実。原子力規制委員会が2月12日に高浜3、4号機の審査合格を決めた後「現議員で判断すべきか、新議員で論議すべきか悩んだ」と的

場議長は初めて明かした。それでも同意に踏み切ったのは「今の議員で判断を下すべきだとの声が多数を占めたから」と説明した。

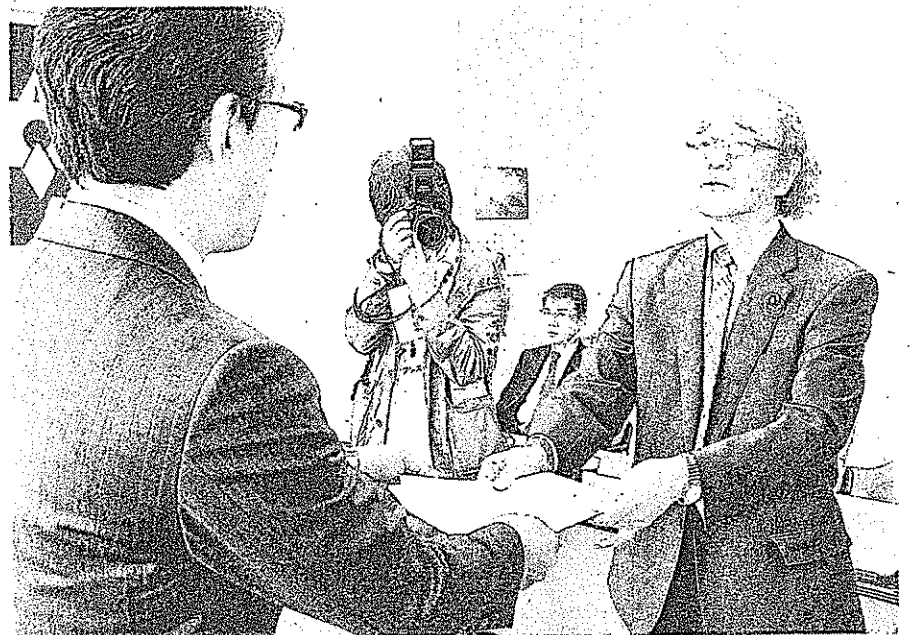
任期中、高浜3、4号機の現地視察などを行い、早期の再稼働を求める意見書を3度可決した。「4年間(再稼働という)重い課題に向き合ってきた」と強調する。

一方、同町会から同意を伝えられた野瀬町長は記者団の取材に応じ「(町議の)任期はわずかだが4年間、知見と経験を積んできた現議員が判断するのは妥当」とした。

今後は、3月中にも出されるとみられる運転差し止めを求める仮処分福井地裁の結論に注目が集まる。2月県会

で県は「仮に運転差し止めの仮処分ということになれば、制御棒を引き抜くとか原子炉稼働はできない」との認識を示している。

司法判断に加え、4月の県知事選以降としている野瀬町長の結論、県会の議論、それらを踏まえた西川知事の最終判断…。再稼働までにはまだ時間を要する。(牧野将寛)



高浜町会として再稼働同意を示す内容を記した文書を野瀬町長に渡す的場議長(右)＝20日、高浜町役場